

進路だより

令和5年 7月20日
都立中野特別支援学校
第2号
校長 和田 慎也
担当 石田 直暉

【専任より】

いつも、本校の進路指導に御理解・御協力を賜りまして、ありがとうございます。

先月、「第1回保護者向け進路研修会」を、動画配信という形で実施させていただきました。動画配信という方法や、その内容について、様々な御意見を頂戴いたしました。頂戴しました御意見は、次年度以降の実施に役立てていきたいと思っております。ありがとうございました。

「保護者向け進路研修会」の配布された資料の中に、現時点での福祉施設の定員と空き状況を記した資料の配布があった自治体（中野区、渋谷区）がありました。すでに資料を目にされた方、施設見学の際での質問等で、「現時点での定員と空き状況」を把握されている方は、驚愕の思いでいらっしゃるかもしれません。私たち学校も、学区域内の全ての福祉施設の情報を持っているわけではありませんが、様々な会議やそれぞれの福祉施設担当者との交流の中で把握しているのは、「希望者に対して生活介護施設の空き数が、圧倒的に足りない」ということです。それぞれの自治体は調査の中で、中期的な希望者数の把握をしていますが、予算の問題で新規施設が建設できなかったり、「箱」を作ったとしてもマンパワーが足りなかったりと、「生活介護サービス」においては厳しい状況にあります。

さて、ここは「学校」です。「教育の現場」です。初めから「生活介護希望」と決めつけるのではなく、「働く」ということに、チャレンジしてみたいかでしょうか？私たち教員も、「教育」というアプローチで、お手伝いできるかと思っております。

(田邊 大樹)

【専任より】

1学期はミニ実習、現場実習に向けての御準備、実習中の巡回、反省会への御出席、進路面談への御出席など、本校の進路指導へ多大な御協力をいただきまして、誠にありがとうございました。お陰様で生徒たちは実りある実習を実施することができました。

はじめて校外へ出て実習を経験する2年生は緊張でうまく声が出ない中、仕事をする様子なども見られましたが、学校とはまた違った真剣な表情で仕事に取り組んでいたことが印象的でした。役割を与えられ、その役割を全うして「ありがとう」と言われる経験が生徒たちの働く力を伸ばしていくのだなと改めて感じました。夏休みもぜひ、家での仕事を通して、「ありがとう」と言われる経験を積んでいただければと思います。その経験が必ず、2学期以降の実習に生かされてくるはずですよ。

また、実習ではうまくいったことばかりではなく、実習先から必ず課題をいただけてきます。課題を突きつけられ、正直気持ちの良いことばかりではなかったかと思っております。私自身も、今年度から進路専任の業務につき、うまくいかないことの連続でした。それでも、勇気を出して課題と向き合うことでしか、自分自身の成長がないことも知っています。ぜひ、実習先からいただいた課題はお子さんが今後、成長していくための財産であると認識した上で、在学中に解決できる課題は一緒にクリアしていきましょう。そして、お子さんのより良い進路、人生を築いていきましょう。

(江川 拓郎)

【小学部】

6月29日・30日（1泊2日）、小学部5・6年生は移動教室に行ってきました。移動教室の事前学習では、入浴や布団敷きなど、普段学校生活では経験しない内容についても、学習の積み重ねを通して、「自分のことは自分でやる」という意識を高めていきました。御家庭でも練習に御協力いただきありがとうございました。キッズニア東京での仕事体験や宿泊先での集団生活の経験など、一つ一つが「自立」に向けた一歩であり、子どもたちの自信につながっていくと思っております。

さて、これから夏休みに入り、御家庭で過ごす時間が長くなると思っております。保護者の皆様には、この機会を生かし、ぜひ、子どもたちに御家庭での役割（お手伝い）を決めて取り組むことをお勧めします。お手伝いは、達成感や責任感、生活力を養う良い機会です。既に習慣化している御家庭はもちろん、これから始めようと考えている御家庭も、この機会に無理なくできる内容やペースで、取り組んでみてください。

(湊 友里)

【中学部】

進路学習では就労後の職業生活について学んでいますが、中学部にとって目の前の進路はやはり「高等部進学」かと思います。3年生では来年の高等部進学に向けての準備が始まりました。今号では、3年次にスタートする高等部進学までの流れをお伝えいたします。

まず初めに「入学相談説明会（学校説明会）」（6月）があります。それを受けて「事前相談」（8月）に参加します。これは生徒、保護者、教員の面談です。その後「入学願書出願」（1月初）を経て、「入学相談」（2月初）に臨みます。これは学力検査や面接などのことです。そして合格者発表のあと「入学説明会」（3月）、という流れになります。一つ一つが進学に向けて保護者の皆様に御協力いただく大切な取り組みになります。

なお、中野特別支援学校か練馬特別支援学校、どちらに進学するかは居住区によって定められています。両校の進学までの流れは大まかには同じですが、手続等で異なる点もあります。両校からの御案内は、全て中学部の進路指導部を介して書面でお伝えします。御不明な点などがありましたら中学部進路指導部の教員に御遠慮なくお尋ねください。

（伊達 恵子、石田 直暉、杉本 美樹）

【高等部1年】

◆7月6日に進路希望調査アンケートを配布いたしました。「高等部に入ったばかりなのに、もう進路希望のアンケートを取るの？」と驚かれた保護者の皆様もいらっしゃったのではないのでしょうか。10月と2月には職場見学があり、2年生になるとすぐにミニ実習があります。実はもう進路決定に向けて走り出しているんですね。ところで、生徒の皆さんは走っているのはレールの上ではありません。目的地も道のりも、決めるのは生徒本人です。大人からすると「こっちの道の方が安全なんじゃない?」「寄り道してる場合じゃないんじゃない?」などと言いたくなってしまいうこともありますが、生徒の皆さんが3年間走り続ける中で見る景色に、無駄なもの一つありません。同じ道を2回走ってしまったとしても、1回目には見えなかったものが、2回目に見えることがあります。回り道をしてしまったとしても、近くからでは見えないものが、遠くからだとよく見えることがあります。高速で飛ばしているときには見えないものが、ゆっくり走っているときには見えることがあります。生徒の皆さんが見ている景色を一緒に見ながら、本人、保護者、学校とで、希望や適性について考えながら、進路決定に向けて走っていきましょう！我々進路指導部は、カーナビならぬ進路ナビとして、皆さんの道案内をさせていただきます。不安なこと、分からないことがありましたら、ささいなことでも構いませんのでお気軽にお尋ねください。

（松尾 啓矢、和泉 悠太）

【高等部2年】

◆1学期は6月にビジネスマナー講座、6月～7月にミニ実習を実施しました。ビジネスマナー講座では中野区障害者福祉事業団、株式会社パソナハートフルから講師の方に来ていただき、実習の時に気を付ける挨拶や返事、連絡・報告・相談の仕方、身だしなみ等についてのお話を聞きました。ミニ実習では福祉作業所や企業で2日間の実習を行いました。緊張したり戸惑ったりしながらもそれぞれが力を出し切り、実習を終えた後の生徒は疲れとともにやりきった達成感が感じられるとても良い表情をしていました。実習を通して今現在できること、課題として今後も取り組んでいくことなどが明らかになったと思います。御家庭におかれましても夏休みを利用して施設見学をしたり、家庭での仕事を通して経験を深めたり等の御協力をお願いいたします。2学期は現場実習がスタートします。保護者の方に足を運んでいただく機会も増えますので引き続きよろしくをお願いいたします。

（本橋 剛、玉上 美智子）

【高等部3年】

3年生にとって、現場実習そのものが卒業後の進路先を決める大切な取り組みということもあり、保護者の皆様には、事前面接に送迎、見学や振り返り、そして進路面談にと貴重な時間を割いていただき、誠にありがとうございました。また、御家庭によっては、朝早くからのお弁当作りに御協力ありがとうございました。

現場実習のエピソードを一つ御紹介したいと思います。実習の巡回に行かれた先生が学校に帰ってくるなり、「実習先の方から、作業の終了報告がきちんとできていますね、とほめられました。」と笑顔で話してくれました。よくよく聞いてみると、『職業』のワークトレーニングで繰り返し学習している「(手を挙げて)できました。確認をお願いします。」という報告を実習先でも再現していたとのことでした。その話を聞いた時、教員冥利に尽きるとはこのことだなあと、私自身とてもうれしく感じることができました。

反面、「学校できちんとやらなくても、実習先ではしっかりやるから大丈夫。」と話す生徒もいます。でも、実際は学校でできないことは、実習先でもできないというのが本当の答えです。ぜひ、自分の課題に勇気をもって向き合うことが、進路の実現につながることに気付いてほしいと願っております。

8か月後の卒業式。生徒一人一人が胸を張って参加できるよう、御家庭と学校が協力して進路指導を行っていきたいと思いますので、今後とも何とぞよろしく願いいたします。

(清水 裕子、武井 理、宗形 秀人)

中野区に新しい生活介護施設ができました！

施設名：サクラボテラス

運営法人：一般社団法人 Su-Clu-Lab Terrace

所在地：中野区東中野 2-11-14

事業内容：生活介護

電話：03-6279-3870

Email:contact@su-clu-lab.com

内容：うごく、たべる、リズム、アート

年間イベント：自然体験、動物とのふれあい

乗馬体験



プログラム特色

- ・ 作業療法士などのリハビリスタッフが在籍し安全に楽しく体を動かせます。
- ・ 就労支援経験のあるスタッフが社会参加についても相談が可能。
- ・ アートプロジェクト運営経験のあるスタッフと創作活動ができます。